



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2814 URL http://www.sato-foods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 邦雄
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 那須 智 (TEL) 0568-77-7316
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,081	△11.7	697	△28.7	792	△26.8	292	△84.2
2020年3月期	6,889	0.6	979	△6.1	1,083	△3.6	1,855	155.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	46.74	46.45	1.6	4.0	11.5
2020年3月期	296.57	295.00	11.0	5.8	14.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -100万円 2020年3月期 -100万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	20,051	18,381	91.5	2,930.66
2020年3月期	19,282	17,784	92.1	2,836.35

(参考) 自己資本 2021年3月期 18,345百万円 2020年3月期 17,755百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,289	△176	△197	8,747
2020年3月期	1,473	△382	△187	7,831

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	187	10.1	1.1
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	187	64.2	1.0
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00	—	—	—

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,670	—	210	—	266	—	210	—	33.71
通期	5,460	—	521	—	609	—	494	—	79.02

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	9,326,460 株	2020年3月期	9,326,460 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	3,066,622 株	2020年3月期	3,066,622 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	6,259,838 株	2020年3月期	6,256,451 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は2021年5月14日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	13
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、2020年4月に新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」といいます。）の感染拡大により、緊急事態宣言が発出されるなど社会経済活動が大幅に制限された結果、個人消費は低迷し、景気は急速に悪化しました。5月の緊急事態宣言解除後は、段階的に社会経済活動が再開され、政策効果を伴って持ち直しの動きも見られましたが、11月以降に本感染症が再拡大し、2021年1月に2度目の緊急事態宣言が発出された他、変異株の感染拡大が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。海外経済につきましても、各国で本感染症のワクチン接種が始まったものの、世界的な感染収束時期は見通せず、さらに長期化する米中通商問題など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当食品業界につきましては、本感染症の感染拡大に伴い、巣ごもり消費など新たな需要が創出された一方で、外出自粛や在宅勤務の推進などによる外食需要の減少、近年増加傾向にあったインバウンド需要の消失、テイクアウトやデリバリーサービスの利用定着など、消費者の購買行動や生活様式が変化、多様化したことによって厳しい経営環境となっております。

当社といたしましては、顧客、取引先及び従業員の安全確保を最優先に、マスク着用や手洗い消毒の徹底、Web会議等を活用した営業活動を推進し、出張を伴う営業活動や来客対応を抑制し、感染状況に応じた感染リスクの低減に努めるとともに、製造従事者への感染が広まった場合には、一定期間操業を停止するリスクがあるため、食事場所や休憩室等のエリア分けを行うことで、感染リスクの低減を図り、事業活動を継続してまいりました。

このような状況のもと、当社の当事業年度の売上実績は、本感染症の拡大に伴う外出自粛や在宅勤務の推進により、茶エキスを中心に低調に推移いたしました。

当事業年度における売上高は、茶エキスにつきましては、緑茶エキス・ほうじ茶エキス等が減少したため、売上高は 2,996百万円（対前年同期比 13.8%減）となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末魚介・粉末酢等が増加したものの、粉末鰹節・粉末昆布等が減少したため、売上高は 1,657百万円（同 6.8%減）となりました。

植物エキスにつきましては、野菜エキスが増加したものの、果実エキス等が減少したため、売上高は 624百万円（同 17.2%減）となりました。

液体天然調味料につきましては、昆布エキスが増加したものの、鰹節エキス等が減少したため、売上高は 660百万円（同 7.2%減）となりました。

粉末酒につきましては、ブランデータイプ等が増加したものの、ラムタイプ・清酒タイプ等が減少したため、売上高は 136百万円（同 15.0%減）となりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は 6,081百万円（同 11.7%減）となりました。

損益面につきましては、営業活動の自粛による旅費交通費等の一般管理費は減少したものの、売上高の減少により営業利益は 697百万円（同 28.7%減）、経常利益は 792百万円（同 26.8%減）となりました。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額 367百万円（前事業年度末は △782百万円）を計上したため、当期純利益は 292百万円（同 84.2%減）となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産合計は 20,051百万円となり、前事業年度末に比べ 769百万円増加しました。

流動資産については 11,396百万円となり、前事業年度末に比べ 861百万円増加しました。主に、現金及び預金が 916百万円増加したことによります。

固定資産については 8,654百万円となり、前事業年度末に比べ 92百万円減少しました。主に、投資有価証券が 711百万円増加したものの、繰延税金資産が 584百万円、有形固定資産が 221百万円、それぞれ減少したことによります。

負債合計は 1,669百万円となり、前事業年度末に比べ 171百万円増加しました。

流動負債については 1,596百万円となり、前事業年度末に比べ 171百万円増加しました。主に、未払法人税等が 125百万円、仕入債務が 65百万円、それぞれ増加したことによります。

固定負債については 72百万円となり、前事業年度末から変動はありませんでした。

純資産合計は 18,381百万円となり、前事業年度に比べ 597百万円増加しました。主に、配当金の支出により 187百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が 485百万円増加し、当期純利益 292百万円を計上したことによります。

この結果、1株当たり純資産は、前事業年度末の 2,836円35銭から 2,930円66銭となり 94円31銭増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ 916百万円増加し、8,747百万円となりました。

なお、当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金の増加は、1,289百万円(前事業年度は 1,473百万円の増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益 785百万円、減価償却費 406百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金の減少は、176百万円(前事業年度は 382百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 160百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金の減少は、197百万円(前事業年度は 187百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額 187百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	89.8	86.8	88.9	92.1	91.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.0	59.4	50.8	50.7	50.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	90.6	56.7	69.6	46.2	51.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	160.3	288.9	253.2	397.3	344.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各数値は、財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

3. キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」といいます。）のワクチン接種が開始されたものの、2021年4月に首都圏をはじめとする一部地域で3度目の緊急事態宣言が発出された他、変異株の感染拡大が懸念されるなど、依然として本感染症が社会経済活動に大きな影響を及ぼしており、事態の収束とその後の景気回復には、相当な期間を要するものと予想されます。

当食品業界につきましては、本感染症の感染拡大を契機に大きく変化した事業環境への適応が求められるとともに、急激な需給変動や天候不順等による原材料調達コストの上昇や原油相場の高騰によるエネルギーコストの上昇が懸念されるなど、引き続き厳しい状況が予想されます。

当社といたしましては、食に携わる企業として安全・安心な製品の提供を最重要課題に位置づけ、適正な人員の確保による生産体制と、品質保証体制の更なる強化に努め、今後の国内市場が縮小に向かう厳しい状況の中、創業以来培ってまいりました「天然風味の粉末化」技術を応用し、付加価値の高い製品開発に注力してまいります。

このような見通しのもと、第2四半期業績予想は、売上高 2,670百万円、営業利益 210百万円、経常利益 266百万円及び四半期純利益 210百万円、通期業績予想は、売上高 5,460百万円、営業利益 521百万円、経常利益 609百万円及び当期純利益 494百万円を見込んでおります。

なお、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想につきましては当該会計基準等適用後の金額となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する積極的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけており、業績の見通し、財政状態、配当性向及び純資産配当率等を総合的に勘案して配当を実施することを基本方針としております。

当社は、上記方針のもと、近年多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症の長期化による事業環境の変化に備えるために必要な内部留保資金を確保しつつ、新製品・新技術の開発に必要な新規設備の導入や工場設備の改良・増強・老朽化対策工事などの有効投資を通じて健全な経営の継続と安定的な業績の拡大を図り、株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元を目指してまいります。

かかる状況を総合的に勘案し、当期末の配当金につきましては、1株につき15円を2021年6月29日開催予定の定時株主総会に付議する予定でございます。

これにより、既に実施しております中間配当金（1株につき15円）を加えました年間配当金は、1株につき30円を予定しております。

次期の配当につきましては、中間配当金および期末配当金ともに15円、年間配当金30円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,831,167	8,747,349
受取手形	129,740	98,862
売掛金	1,188,903	1,166,458
製品	518,856	634,879
仕掛品	288,023	373,911
原材料及び貯蔵品	378,494	339,523
前払費用	19,627	15,330
未収還付法人税等	175,607	—
未収消費税等	—	18,570
その他	4,606	2,086
流動資産合計	10,535,027	11,396,973
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,153,211	4,172,393
減価償却累計額	△2,542,861	△2,636,862
建物(純額)	1,610,350	1,535,531
構築物	351,415	351,415
減価償却累計額	△284,459	△289,933
構築物(純額)	66,955	61,481
機械及び装置	7,774,270	7,847,384
減価償却累計額	△6,924,418	△7,085,618
機械及び装置(純額)	849,851	761,766
車両運搬具	55,405	56,962
減価償却累計額	△52,218	△54,594
車両運搬具(純額)	3,186	2,367
工具、器具及び備品	288,715	301,940
減価償却累計額	△229,824	△248,761
工具、器具及び備品(純額)	58,890	53,179
土地	2,558,304	2,558,304
建設仮勘定	52,496	5,710
有形固定資産合計	5,200,035	4,978,341
無形固定資産		
借地権	8,161	8,161
ソフトウェア	7,034	41,007
ソフトウェア仮勘定	41,770	—
電話加入権	1,231	1,231
その他	209	39
無形固定資産合計	58,407	50,440
投資その他の資産		
投資有価証券	2,582,909	3,294,466
破産更生債権等	1,408,531	1,408,482
長期前払費用	3,774	2,107
繰延税金資産	647,164	62,466
その他	254,825	266,367
貸倒引当金	△1,408,531	△1,408,482
投資その他の資産合計	3,488,673	3,625,408
固定資産合計	8,747,117	8,654,190
資産合計	19,282,144	20,051,164

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	320,996	386,854
短期借入金	680,000	670,000
未払金	141,384	161,352
未払費用	101,367	96,620
未払法人税等	22,880	148,329
未払消費税等	20,073	—
預り金	18,720	18,886
賞与引当金	119,000	113,000
その他	146	1,389
流動負債合計	1,424,569	1,596,433
固定負債		
役員退職慰労引当金	17,130	17,130
資産除去債務	55,649	55,649
固定負債合計	72,779	72,779
負債合計	1,497,348	1,669,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金		
資本準備金	3,932,375	3,932,375
その他資本剰余金	508,065	508,065
資本剰余金合計	4,440,440	4,440,440
利益剰余金		
利益準備金	153,500	153,500
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	9,609	7,927
別途積立金	9,060,103	9,360,103
繰越利益剰余金	3,409,338	3,215,815
利益剰余金合計	12,632,552	12,737,347
自己株式	△3,414,602	△3,414,602
株主資本合計	17,330,665	17,435,460
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	424,428	910,016
評価・換算差額等合計	424,428	910,016
新株予約権	29,702	36,474
純資産合計	17,784,796	18,381,951
負債純資産合計	19,282,144	20,051,164

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,889,483	6,081,691
売上原価		
製品期首たな卸高	546,807	518,856
当期製品製造原価	5,020,198	4,663,714
酒税	16,212	15,013
合計	5,583,219	5,197,584
製品他勘定振替高	12,379	10,683
製品期末たな卸高	518,856	634,879
売上原価合計	5,051,983	4,552,021
売上総利益	1,837,499	1,529,669
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	107,163	91,652
広告宣伝費	16,959	17,385
役員報酬	104,409	98,931
給料及び賞与	174,623	175,227
賞与引当金繰入額	21,504	20,315
退職給付費用	8,325	7,687
株式報酬費用	7,152	6,772
賃借料	18,464	18,565
減価償却費	7,146	16,400
事業税	38,479	60,407
支払手数料	56,476	52,553
試験研究費	186,316	177,326
その他	111,391	88,595
販売費及び一般管理費合計	858,411	831,821
営業利益	979,087	697,848
営業外収益		
受取利息	1,139	1,105
有価証券利息	98	392
受取配当金	66,387	73,041
貸倒引当金戻入額	17,404	48
その他	22,799	24,849
営業外収益合計	107,829	99,437
営業外費用		
支払利息	3,717	3,760
貯蔵品処分損	—	620
その他	6	5
営業外費用合計	3,724	4,387
経常利益	1,083,193	792,898

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除却損	4,540	6,480
損害賠償金	997	440
その他	—	0
特別損失合計	5,537	6,921
税引前当期純利益	1,077,660	785,977
法人税、住民税及び事業税	4,300	125,500
法人税等調整額	△782,141	367,886
法人税等合計	△777,841	493,386
当期純利益	1,855,502	292,590

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,672,275	3,932,375	512,428	4,444,803	153,500	11,329	8,760,103	2,039,712	10,964,646
当期変動額									
剰余金の配当								△187,596	△187,596
当期純利益								1,855,502	1,855,502
固定資産圧縮積立金の取崩						△1,720		1,720	—
別途積立金の積立							300,000	△300,000	—
自己株式の取得									
自己株式の処分			△4,362	△4,362					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	△4,362	△4,362	—	△1,720	300,000	1,369,626	1,667,906
当期末残高	3,672,275	3,932,375	508,065	4,440,440	153,500	9,609	9,060,103	3,409,338	12,632,552

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△3,429,394	15,652,329	386,868	386,868	33,093	16,072,292
当期変動額						
剰余金の配当		△187,596				△187,596
当期純利益		1,855,502				1,855,502
固定資産圧縮積立金の取崩		—				—
別途積立金の積立		—				—
自己株式の取得	△128	△128				△128
自己株式の処分	14,920	10,557				10,557
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			37,560	37,560	△3,391	34,168
当期変動額合計	14,792	1,678,335	37,560	37,560	△3,391	1,712,504
当期末残高	△3,414,602	17,330,665	424,428	424,428	29,702	17,784,796

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,672,275	3,932,375	508,065	4,440,440	153,500	9,609	9,060,103	3,409,338	12,632,552
当期変動額									
剰余金の配当								△187,795	△187,795
当期純利益								292,590	292,590
固定資産圧縮積立金の取崩						△1,681		1,681	—
別途積立金の積立							300,000	△300,000	—
自己株式の取得									
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△1,681	300,000	△193,522	104,795
当期末残高	3,672,275	3,932,375	508,065	4,440,440	153,500	7,927	9,360,103	3,215,815	12,737,347

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△3,414,602	17,330,665	424,428	424,428	29,702	17,784,796
当期変動額						
剰余金の配当		△187,795				△187,795
当期純利益		292,590				292,590
固定資産圧縮積立金の取崩		—				—
別途積立金の積立		—				—
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			485,587	485,587	6,772	492,359
当期変動額合計	—	104,795	485,587	485,587	6,772	597,155
当期末残高	△3,414,602	17,435,460	910,016	910,016	36,474	18,381,951

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,077,660	785,977
減価償却費	457,482	406,116
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△33,951	△48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	△6,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,210	—
保険解約損益 (△は益)	△7,264	△8,364
受取利息及び受取配当金	△67,527	△74,146
有価証券利息	△98	△392
支払利息	3,717	3,760
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4	—
有形固定資産除却損	4,540	6,480
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	0
受取保険金	△299	—
損害賠償金	997	440
売上債権の増減額 (△は増加)	358,230	53,322
たな卸資産の増減額 (△は増加)	125,334	△163,203
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△18,570
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△3,945	19,049
仕入債務の増減額 (△は減少)	△97,081	65,858
未払金の増減額 (△は減少)	△37,447	823
未払費用の増減額 (△は減少)	△8,431	△4,747
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△88,111	△20,073
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	33,951	48
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△35,872	22,374
その他	8,287	8,456
小計	1,681,955	1,077,161
利息及び配当金の受取額	67,521	74,668
保険金の受取額	299	—
利息の支払額	△3,707	△3,744
損害賠償金の支払額	△997	△440
法人税等の支払額	△271,988	△21,016
法人税等の還付額	—	163,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,473,083	1,289,965

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△215,027	△160,663
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△48,450	△2,964
投資有価証券の取得による支出	△109,925	△9,267
投資有価証券の売却による収入	—	0
長期前払費用の取得による支出	△3,600	△16
その他の収入	15,542	17,058
その他の支出	△21,217	△20,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382,674	△176,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△128	—
自己株式の売却による収入	13	—
配当金の支払額	△187,629	△187,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,744	△197,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	902,663	916,182
現金及び現金同等物の期首残高	6,928,503	7,831,167
現金及び現金同等物の期末残高	7,831,167	8,747,349

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響の程度を予測することは困難な状況であるものの、2021年4月に首都圏をはじめとする一部地域で3度目の緊急事態宣言が発出された他、変異株の感染拡大が懸念されるなど、依然として社会経済活動に大きな影響を及ぼしており、事態の収束とその後の景気回復には、相当な期間を要するものと予想されるため、2022年3月期以降も新型コロナウイルス感染症の影響が当面の間継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、見積りに用いた仮定は不確実性を伴うものであり、新型コロナウイルス感染症の収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当社の財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報)

当社は、食品加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,836円35銭	2,930円66銭
1株当たり当期純利益	296円57銭	46円74銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	295円00銭	46円45銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	1,855,502	292,590
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,855,502	292,590
普通株式の期中平均株式数(株)	6,256,451	6,259,838
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	33,339	38,896
(うち新株予約権(株))	(33,339)	(38,896)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	17,784,796	18,381,951
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	29,702	36,474
(うち新株予約権(千円))	(29,702)	(36,474)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	17,755,094	18,345,476
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6,259,838	6,259,838

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

(単位：千円、千円未満切捨)

期別 品目別	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		比較増減 (△は減)
	金額	構成比	金額	構成比	金額
		%		%	
茶エキス	3,392,316	50.1	3,004,201	48.0	△388,115
粉末天然調味料	1,762,986	26.1	1,793,590	28.6	30,603
植物エキス	754,640	11.2	638,688	10.2	△115,952
液体天然調味料	693,198	10.2	696,424	11.1	3,226
粉末酒	163,461	2.4	129,642	2.1	△33,818
合計	6,766,603	100.0	6,262,547	100.0	△504,056

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

(単位：千円、千円未満切捨)

期別 品目別	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		比較増減 (△は減)
	金額	構成比	金額	構成比	金額
		%		%	
茶エキス	3,477,936	50.5	2,996,399	49.3	△481,537
粉末天然調味料	1,779,234	25.8	1,657,701	27.2	△121,533
植物エキス	754,134	11.0	624,649	10.3	△129,485
液体天然調味料	711,388	10.3	660,433	10.9	△50,954
粉末酒	160,122	2.3	136,172	2.2	△23,949
その他	6,666	0.1	6,335	0.1	△331
合計	6,889,483	100.0	6,081,691	100.0	△807,792

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前事業年度		当事業年度	
	販売高 (千円)	割合(%)	販売高 (千円)	割合(%)
(株)伊藤園	1,157,196	16.8	1,267,853	20.8